

Vol.164

院長 関の

Face to Face

2022年2月1日発行



私達の体には全身に神経が張り巡らされています。その神経は繊細で、特に圧迫に弱いのをご存知でしょうか。圧迫され続けると元の状態に戻れなくなったり神経細胞が死んで麻痺になることがあります。神経は圧迫を受けると脳にその情報を送り、「痛い」「痺れる」「感覚が鈍い」などという状況に陥るのです。圧迫の原因は、腫瘍、ヘルニア、狭

神経は圧迫に弱い



窄、靭帯の肥厚、骨や関節の変形、筋肉の緊張など様々があります。神経は太いものが圧迫されると症状が広範囲になり、細いものが圧迫されても支配領域に傷害が発生します。当院の治療家は、患者さんの辛い神経症状がどこから来るのかを想定し、治療を行います。多くの方に当てはまる筋肉の緊張による圧迫は得意分野

ですが、自分たちの領域を超えていると判断すれば専門医をご紹介しています。多くの方が悩む「腰痛」ですが、腰には大きな神経の束があります。それは大きな筋肉に挟まれています。この筋肉が緊張することで慢性的に腰痛になっている場合が多くあります。この筋肉は体の深部にあるインナーマッスルです。正しい姿勢を維持できないと硬く萎縮してしまう筋肉です。萎縮すれば神経を圧迫します。神経は圧迫に弱いのです。



関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院・マッサージ院 院長

代替医療の総合治療院としての

確立を目指す。タイトルの「Face

to Face」は「患者さん自身と向き

合って患者さんの症状と闘う」こ

とを願ってつけた

※毎月一日の発行です